

2009年センター報告・日誌

* 左右田文庫保存事業

昨年度より一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け、左右田文庫の保存修復作業を行っている。全資料に対する劣化調査をすると共に、保存修復作業が必要な資料に対しては、保革油塗布、保護ジャケット・保存容器の作製、ページ修理、保存製本等の処置を施している。こうした保存修復作業は、製本家・書籍修復家からの指導を受けながら、センター内に設置されている貴重書保存修復工房のスタッフにより行われている。

* 左右田文庫遡及入力

今年度より左右田文庫目録を国立情報学研究所総合目録データベースへ遡及入力する作業を行っている。平成24年度までに左右田文庫全点の入力を完了する予定である。

第10回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で、7月13日（月）から7月15日（水）までの3日間開催し、全国の国公私立大学図書館等から8名参加で、実習を中心に行った。

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 保存計画のための材料と環境 | 増田勝彦（昭和女子大学教授） |
| 2. 劣化調査と保存計画 | 増田勝彦 |
| 3. 製本構造、調査票の活用、クリーニング、
書見台、保存容器、保存製本 | 岡本幸治（製本家・書籍修復家） |

第29回西洋社会科学古典資料講演会

下記の内容で、11月10日（火）から11月13日（金）まで4日間開催し、全国の国公私立大学図書館等から31名が参加した。

古典研究

- (1) 19世紀末フランスにおける「社会経済」の思想と実践
栗田啓子（東京女子大学教養学部教授）
- (2) ヨーロッパ・ユダヤ人の言語経験：棄てられた言語、選ばれた言語、再生された言語
野村真理（金沢大学経済学経営学系教授）
- (3) 戦間期イギリスの経済学：いくつかの文書を踏まえつつ
平井俊顕（上智大学経済学部教授）

書誌学

- (1) 記述書誌を“読む”面白さ：図書館員のための書誌学入門
武者小路信和（大東文化大学文学部准教授）
- (2) 展示、その役割と力
洪 恒夫（東京大学総合研究博物館特任教授）

(3) 古版本の目録作成

床井啓太郎（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手）

(4) 日欧におけるギリシア古典受容史：ヘロドトス『歴史』を例に

名和賢美（高崎経済大学経済学部講師）

保存・修復

(1) 紙資料の保存

増田勝彦（昭和女子大学大学院生活機構研究科教授）

(2) 歴史的製本の修理と保存の基礎技術

岡本幸治（製本家・書籍修復家）

社会科学古典資料センター見学（書庫・所蔵資料・貴重書保存修復工房）

日誌（2009年1月～12月）

3月31日

一橋大学社会科学古典資料センター年報 第29号発行

Study Series No.61：寺本敬子

『徳川昭武に宛てたレオポルド・ヴィレットの書簡

—1867年パリ万博の出会いから日露戦争まで—』上巻発行

4月

センター小展示「製本・修復の材料と道具」開催

5月28日

第10回社会科学古典資料センター専門委員会

議題：1 平成20年度事業報告について

2 平成20年度決算報告について

3 平成21年度事業計画について

4 センター休館日・開館時間の変更について

5 センター年報・Study Seriesの外部レフリーについて

6 電子画像利用による利用者サービスの向上について

7月13日～15日

第10回西洋古典資料保存講習会開催

8月20日～9月3日

蔵書点検

8月～9月

センター小展示「ほんの本」開催

9月25日～10月7日

特別展示「センター所蔵マザリナード」開催

9月29日

第23回社会科学古典資料センター主催講演会

クリスチャン・ジュオー「マザリナードと雑報：1652年、パリに流通した反ユダヤ文書群」

11月10日～13日

第29回西洋社会科学古典資料講習会開催

10月16日～

センター小展示「紙の補修・材料と方法」開催

12月25日

Study Series No.62：寺本敬子

『徳川昭武に宛てたレオポルド・ヴィレットの書簡

—1867年パリ万博の出会いから日露戦争まで—』下巻発行

利用状況（2009年1月～12月）

開館日数 226日

利用者 148人

（学内） 40人

（学外） 34人

（文献複写） 74人

利用冊数 184冊

複写冊数 81冊

センター休館日・開館時間の変更について

休館日と開館時間に変更になりました。開館時間は、9：00～12：00、13：00～17：00です。

休館日は以下の通りです。

土、日曜日および国民の祝日

本学創立記念日（9月24日）

年末年始（12月27日～1月4日）

学部入学試験日

講習会開催期

その他とくにセンター長が休館を必要と認めた日